

生駒市子ども子育て支援懇話会 第1回会議録（要点筆記）

- 1 開催日時 平成 24 年 11 月 1 日（木）午後 3 時 30 分～5 時
- 2 開催場所 生駒市コミュニティセンター401 会議室
- 3 出席者 (参加者) 別紙参加者名簿参照
(事務局) 池田福祉健康部長、峯島教育総務部長、
吉川こども課長、真銅教育総務課長
奥田こども課課長補佐、水野こども課指導主事、
浅井教育指導課指導主事
佐々木こども課保育係長、有山教育総務課学務係長、
- 4 会議の公開・非公開 公開 傍聴人数 0名
- 5 議題 福祉健康部長挨拶
配布資料説明
参加者・事務局職員紹介
- 6 議事内容
- (1)懇話会趣旨説明
- (2)座長選出 東大阪大学副学長兼こども学部教授 吉岡真知子先生 選出
- (3)座長挨拶
認定こども園については国、各市町村でも同様に進んでおり、保育所と幼稚園で教育内容の整合性をもってそれぞれ現場で検討している。更に国では就学前教育から小学校への接続を大きな方針としており、幼保小が一体となって地域で教育を見ていくという方向性が出ている。生駒市のみなみ保育園・南幼稚園・南小学校区で就学前の教育が更に良いものにしていくためにはどうあるべきかをそれぞれの所属の特性を活かし市に意見を出していける懇話会にしたい。
- (4)事務局から説明
生駒市立みなみ保育園と生駒市立南幼稚園の運営状況及び2園を一体化した（仮称）南こども園構想について、パンフレットに沿って説明を行う。

(5)討議内容

座 長：ただいまの説明について、質問はありますか。

参加者：幼稚園の敷地で運動会等の行事をするようだが、定員の 300 人が参加できるか。

事務局：生駒市内に幼稚園は 9 園あり、300 人規模の幼稚園もある。運動会を隣接の小学校の運動場で行っている例もある。

参加者：人数が多くなったら、子どもの活動や遊びのために隣接地を確保することは可能か。

参加者：みなみ保育園跡地を、遊び用の広場として利用できないか。

事務局：市としては今のところ考えていない。利用方法については市全体で考えるが、防災倉庫として残してこども園の皆さんに利用してもらうとかも含めて検討する。

事務局：南幼稚園では、以前 40 人学級 10 クラスで園児 400 人が現在の園庭で運動会をやったことがある。

小学校の校庭では環境が大きく変わるため園児が萎縮したり緊張したりするので、慣れた園庭の方がよいのではないか。園庭の取り方を考慮したら運動会は可能だと思う。

事務局：現在の平屋から 2 階建てにすると園庭は今より大きくできる。できれば、同じ敷地内で行事をしたり遊べたりした方がよいので、より効率的な建て方を検討したい。

参加者：狭いから運動会をやりにくいというのではなく、狭さに応じたやり方なども経験を活かして工夫できる。

参加者：保育園の跡地については考えていないようだが、送迎の駐車場はどうなるのか。

事務局：今は南コミュニティセンターの駐車場を借りている。それを継続する。

参加者：せせらぎ第 2 駐車場を使えるのが 8 時半から 6 時半までだが、第 1 駐車場がいっぱいになる可能性もあるのでもう少し延長してほしい。

事務局：所管が違う施設なので、考えさせてもらいたい。

座 長：園舎だけでなく、送迎の件等もどんな構想になっていくのか、検討してください。

参加者：こども園になると、3歳以上児については、合同で50人とか100人の定員にするのか。
長時間利用児と短時間利用児のクラスを分けるのか。

事務局：短時間利用児は、今の幼稚園の園区で希望者全員を受け入れる方針。
長時間利用児は定員を決める。0歳児から2歳児までは現在と同じで、3歳以上児については、保育所と幼稚園のクラス定員の基準が違うのでこれから調整していく。

座長：検討する中で要望はありますか。職員の配置基準はおおよそ決まっていると思うが。

事務局：現在の認定こども園法ではクラス定員は決まっていない。生駒市の幼稚園では、3歳児は25人、4歳児は30人、5歳児は35人。保育所では3歳児は20:1、4・5歳児なら30:1。これをどうしていくのかは、改正認定こども園法が施行されるまでに国が出してくる認定こども園のクラス基準をベースとして生駒市の現状を踏まえて決定する。

座長：幼稚園教諭免許と保育士免許の両方を持った先生がこども園で教育と保育をするのが望ましい。

参加者：生駒市の保育士は行政職と同じ条件での雇用となっているのか。

事務局：幼稚園教諭、保育士ともに給与表上では行政職で、教育職としての形ではない。

参加者：工事中は、南幼稚園の子ども達が南小学校を借りることになるが、子ども達の活動がスムーズに進められ、マイナス面が多くならないように考えてほしい。

参加者：工事中は、小学校の空き教室を使うのか。

事務局：小学校の事情もあるので、今後決まり次第報告していきたい。

参加者：こども園化を進めるにあたり、子ども達が不利にならないように。工事中に卒園する児童などは、仮の施設で卒園することになるが、幼小の接続ということもあるので、小学校との合同行事など行ってメリットがあるような方向で考えてほしい。

事務局：移行期間はどういう形がよいのかを現場の先生と調整をしていく。

25年度に入ってくる園児は新しい園舎を知らずに卒園することになるが、募集の際にこども園化の話を示さなかったのが、安心して入園してもらえるよう保護者会でも説明できるようにする。

参加者：小学校では、空き教室を用意すると、その教室で出来ていた授業ができなくなる。また、仮設を運動場に建てると 1 年間体育の授業に支障が出る等、デメリットが出てくる。

座長：幼稚園ばかりに負担を強いることのないよう、市としても最大限の配慮をしてほしい。

参加者：こども園になった時には、幼稚園・保育園の研修・発表などの時間をどのように確保するのか。

幼稚園の預かり保育の際は、預かり保育担当の先生がいるので、担任は次の行事について話し合える時間があるが、担任が長時間の児童を見ることになるので、そういった時間がとれなくなるのでは。

保育所は一日の長い保育時間の中で運動会も準備しているが、どうやっているのか。

参加者：限られた時間の中で時間を見つけながら、効率性を考えて準備をすすめている。幼稚園ではどうしているのかわからないが、話し合っていく必要がある。

座長：今までと同じリズムにはならないかもしれない。幼稚園ではなく新たなこども園というものができるので、保育所・幼稚園が相談し、情報交換して作っていくものだと思う。

参加者：幼稚園の教育が受けられると書いてあるが、長時間利用児に幼稚園と同じ教育をしているのは難しいと思う。職員配置も含めてどうなるのか。

事務局：現場の先生は不安があると思うが、未知の世界であり今後 3 年間で不安を埋めていけばいいと思う。

参加者：発想の転換で、幼稚園教育要領でいうところの教育時間は平均 4 時間を標準としている。4 時間の幼稚園と 8 時間の保育所の間の 6 時間という中時間みたいなのがこども園の中には盛り込まれていて、幼稚園のコースを選んだ人は通常の幼稚園と同じように帰る。2～3 時間くらい預かり保育を利用して迎えに来る人、8 時間以降の延長で 7 時からまで延長保育を利用する人など、パターン化してくる。

幼稚園は基本その 4 時間をベースにもってきてその対象が 3 歳以上児、そこへ 3 歳未満児が保育所在籍となる。3 歳以上児の中には保育を必要とする子どもと家庭で対応できる子どもが混在する形になるが、午前中の時間は幼稚園と考えればイメージしやすいのではないかと。

事務局：生駒市の幼稚園では通園バスがあり、園区の半分くらいが利用している。通園バスは 2 時までしかなく、預かり保育の子どもは保護者が迎えに来る必要があるので利用者は自

ずと決まってくる。

参加者：認定こども園幼稚園型では、2時以降に預かりの時間があり、親の就労等に合わせて迎えに来る時間はばらばら。新しい幼保の形は、これから生駒市がどういうこども園にしていくかという考えによる。

座長：基本的に幼稚園がそのまま認定こども園になるという発想ではなく、幼保が一体になって就学前教育をどうしていくのかを考えるのが認定こども園の新しい発想である。

今までの幼稚園教育での研修時間帯がどうなるかではなく、新しくこども園ができるので、この時間の中でこども園のカリキュラムをどう具体化して組み立てるのかを真剣に考えないといけない。時間がないから保育内容が低下するというものではない。今後、シミュレーションして幼保の先生がお互い研修し、子ども達の為にカリキュラムを考えていく必要がある。非常に難しいと思うが、モデルがあるわけでもないのに、不安になるとは思うがそこが苦勞のしどころではないか。

幼稚園も昔に比べて保育時間が長くなってきており、預かり保育自体も教育課程の中に入っていくこともあり、同じ悩みは幼稚園でも出てくると思う。

先生のローテーションをどう組むかなど、事務局も一緒になってモデル園になるように保育内容を考えていくことが大事だと思う。

参加者：保育料は現行のままか。

事務局：こども園の保育料は、基本的には応能負担となる。ただし、生駒市では公立幼稚園9園が市内全域をカバーしている中で、南幼稚園の通園区域内の保護者は短時間利用については（仮称）南こども園しか選択できなくなる。よって、短時間利用児は他の公立幼稚園の保護者との負担額の差が生じないように、一律の保育料になる。

こども園の基本的な保育料設定とは異なると思うが、生駒市の方針である。

参加者：もう少し利用者に対してメリットをもたらしてほしい。

例えば、保育園では手話に力を入れているので16時以降も学べるようにするとか、英会話や字を書けるようにするなどの学習のカリキュラムを組んでほしい。

そうしないと現在の保育料では大きな負担が出てくる。幼稚園の3歳児は7,000円のところを、長時間児は最高額で68,000円払っている人がいて、人によっては大きな差がある。不公平がないように何か利益・特典があるとよい。

事務局：3歳児については最高で31,000円。4・5歳なら26,900円。これは給食費を含み、保育時間も午後6時半まで。短時間利用児は午後2時までなので、それ以降は預かり保育

料が必要となり、給食費も希望すると別に必要となる。

参加者：短時間児の給食費について、だいたいの目安はあるか？

事務局：まだこれから検討する。

参加者：幼稚園の子が預かりで布団持参と言われると、その都度家から持ってくるのか。レンタルだと、費用はどれくらいか。生駒幼稚園は長時間で預かりをしているが、個人でその都度持ってきてもらっているのか。

事務局：生駒幼稚園の長時間児は、入園時に預かり保育料も月額で払い、布団は持参となる。単発の預かり保育利用児は、昼寝をしない。2時間だけの預かり保育なので、おやつを食べて遊んだら迎えに来てもらう形である。

参加者：預かり保育は幼稚園の保育実施日だけで2時降園の弁当日のみ。土曜日、長期休業中はない。生駒幼稚園の長時間児の場合は長期休業中も保育があり、システムが違う。

座長：先程、2時以降の長時間保育で手話や英語をしたいとの意見があったが、ただ遊ばせているだけというわけではなく、保育士が長時間関わるということは保育の中で子どもに学びがあるということ。

家庭で稽古に通わせることなく園でやらしてもらえば有難いという意見はわかるので、民間保育園でやっているところの例も参考に長時間児のことも考えてみたらどうか。

参加者：先生の数はどうなるか。

参加者：南幼稚園とみなみ保育園の先生が人数的には合体すると思うが、現状でも忙しそうなので、人数が足りていないのではないか。パートの保育士が引き続きこども園で保育をしてもらえるのかも心配だ。

事務局：人数に応じて足りなければ雇用する。みなみ保育園では園児数に対する保育士の数は足りている。朝と夕方が忙しそうに見えるのは、午前7時から午後7時半まで開いていて、送迎時には時差出勤している当番の保育士が対応しているので、担任が忙しいように思えるのではないか。

参加者：3歳未満児に対しては、保育士の数を増やしてほしい。

座 長：生駒市の3歳未満児については、国基準に対して手厚くしているのでは。

事務局：0歳児については3:1で同じだが、1歳児については国の基準より緩和している。

3歳児も2歳児の6:1から急に20:1にするのは大変だということで、4月からは15:1にし、10月に運動会が終わってから子ども達の様子を見ながら20:1にしている。

3歳児は複数の保育士を配置することもあるが、保育士が多ければ良いわけではない。

3歳以上児については集団・仲間との育ちが大事で、べったりというよりは子ども達と関わる中でちゃんと見ているという保育士の視線の存在が一番大切である。

参加者：この表で、5歳児は幼稚園3クラス、保育園2クラスだが、単純に足して5クラスになるのか。

事務局：幼稚園では、35人以下にするということしか決められていない。生駒市は35人定員だが、幼保の人数を足して35で割ってクラス編成をするわけではなく、他市の様子も参考にしながら検討する。

参加者：保育園と幼稚園の園児で混合のクラスを構成するのか。短時間の子が帰って長時間の子が残った場合、そのまま最後までそのクラスにいるのか、他のクラスと一緒にするのか。

事務局：昼寝があるので、昼食を食べた時点で分かれていく予定。

座 長：時間によって子どもを何回も移動させるのはかわいそう。昼寝が終わるまでクラスに置いておくのがいいのかどうか、一連の子どもの動きも考えてほしい。どこに視点をおいてどこに子どもを配置するのがよいかを考える必要がある。

事務局：保育園の子ども達は、ご飯を食べた時点で一つの部屋へ集まって帰るまで活動するのがよいと思う。部屋の数と職員の数は今後の検討課題。

座 長：長時間の子が遊べるような部屋があった方が、間のびしなくてよいのではないかと。しっかりシミュレーションした上でよい園舎を考えてほしい。

事務局：部屋数が増えると運動場が狭くなるというジレンマがある。出来るだけ他市の良いところも参考にしながら進めていきたい。

座 長：まだモデルがないので、他を参考にするより生駒市独自の良いものを作ってほしい。

事務局：今回の貴重な意見の中で、検討できるものについては次回までに検討しておきたい。今日説明したばかりなので、これから質問も更に出てくると思う。更によりものにする為に次回までに検討のうえ、意見を出してほしい。

事務局：次回の開催の予定は参加者の都合を調整して11月29日（木）午後3時30分からとなった。場所は決まり次第連絡する。

7 教育総務部長挨拶